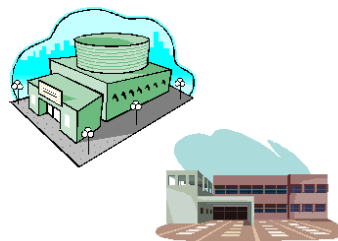


問：**公共施設の更新問題の取り組みは** 私は、平成23年3月議会で蒲郡市公共施設白書の策定を提案した。12月議会で白書作成費用が計上されたが、その取り組み意義について伺う。

答：〈大原企画部長〉 将来的な人口構造の変化、今後の大規模修繕や建替え等にかかる経費の試算等を交えながら、各施設の老朽化の状況や施設配置、運営・利用の状況、施設の維持管理費や運営費など、施設の実態を洗い出したうえで、定量的な視点で分析・評価し、今後公共施設のあり方や公共施設マネジメントの推進方法を検討するうえでの基礎資料とするために作成する。



問：**アレルギー等による緊急時に適切な対応を** 保健アンケートは、児童生徒のアレルギー等の情報を毎年修正して、緊急時に取り出せるように各学校で管理している。病気等で緊急搬送される際にアンケートを活用できないか伺う。



答：〈廣中教育長〉 アナフィラキシー補助治療剤エピペンの処方を受けている市内の小中学生は6名である。蒲郡消防署とは、情報交換をし、早期対応ができるように確認している。救急隊到着時の情報提供により最善の処置と時間短縮が図られると考える。子どもの命を守るため、消防署等と連携し、個人情報の提供に対して保護者の理解を得ていきたい。

問：**野良猫の避妊・去勢手術費に助成を** 改正動物愛護管理法では、飼い主等に終生飼養の責任が明記された。飼い主不明猫の繁殖・増加を抑制し、市民の快適な生活を確保するためにボランティア団体等に手術費を助成している市町があるが、市の考えはどうか伺う。

答：〈荒島産業環境部長〉 蒲郡市の平成24年度の犬・猫殺処分数は犬が38頭、猫が62匹である。地域の中で猫を「適正管理する」野良猫問題の解決に有効な地域猫活動を行っている団体等は本市になく、地域や団体等からの要望があれば、他市町の事例を参考に検討していきたい。



市民相談・生活相談はお気軽に！

※法律相談・よろず相談・市政に対するご意見等



連絡先：松本まさなり
 市役所：0533-66-1169
 自宅：0533-57-6999
 携帯：090-2921-0998



NEW KOMETO

公明党